

# ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型) ーダイワスピリットー

## 運用報告書(全体版)

第162期(決算日 2022年9月12日)  
第163期(決算日 2022年10月11日)  
第164期(決算日 2022年11月10日)  
第165期(決算日 2022年12月12日)  
第166期(決算日 2023年1月10日)  
第167期(決算日 2023年2月10日)

(作成対象期間 2022年8月11日～2023年2月10日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限(設定日:2009年3月12日)		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
組入制限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
138期末(2020年9月10日)	4,363	20	2.4	16,563	△ 0.2	18,563	0.8	95.1	—	16,586
139期末(2020年10月12日)	4,303	20	△ 0.9	16,533	△ 0.2	18,402	△ 0.9	96.0	—	16,187
140期末(2020年11月10日)	4,390	20	2.5	16,432	△ 0.6	18,975	3.1	95.6	—	16,359
141期末(2020年12月10日)	4,453	20	1.9	16,564	0.8	19,333	1.9	95.9	—	16,413
142期末(2021年1月12日)	4,494	20	1.4	16,530	△ 0.2	19,226	△ 0.6	95.7	—	16,377
143期末(2021年2月10日)	4,597	20	2.7	16,493	△ 0.2	19,492	1.4	95.1	—	16,522
144期末(2021年3月10日)	4,508	20	△ 1.5	16,705	1.3	19,107	△ 2.0	95.3	—	16,035
145期末(2021年4月12日)	4,519	20	0.7	16,770	0.4	19,457	1.8	95.2	—	15,946
146期末(2021年5月10日)	4,584	20	1.9	16,787	0.1	19,794	1.7	95.8	—	16,015
147期末(2021年6月10日)	4,636	20	1.6	17,077	1.7	20,308	2.6	95.1	—	16,083
148期末(2021年7月12日)	4,548	20	△ 1.5	17,028	△ 0.3	19,780	△ 2.6	95.3	—	15,612
149期末(2021年8月10日)	4,479	20	△ 1.1	17,122	0.6	19,646	△ 0.7	95.3	—	15,245
150期末(2021年9月10日)	4,529	20	1.6	17,068	△ 0.3	19,832	0.9	95.6	—	15,285
151期末(2021年10月11日)	4,436	20	△ 1.6	16,914	△ 0.9	19,622	△ 1.1	95.9	—	14,874
152期末(2021年11月10日)	4,434	20	0.4	17,331	2.5	19,784	0.8	95.4	—	14,704
153期末(2021年12月10日)	4,122	20	△ 6.6	17,135	△ 1.1	19,331	△ 2.3	94.2	—	13,556
154期末(2022年1月11日)	4,153	20	1.2	17,066	△ 0.4	19,556	1.2	94.7	—	13,570
155期末(2022年2月10日)	4,211	20	1.9	16,884	△ 1.1	20,092	2.7	95.1	—	13,617
156期末(2022年3月10日)	4,080	20	△ 2.6	16,612	△ 1.6	18,250	△ 9.2	95.5	—	13,101
157期末(2022年4月11日)	4,398	20	8.3	17,043	2.6	19,626	7.5	95.7	—	13,960
158期末(2022年5月10日)	4,298	20	△ 1.8	17,093	0.3	19,076	△ 2.8	95.5	—	13,533
159期末(2022年6月10日)	4,447	15	3.8	17,483	2.3	20,308	6.5	95.4	—	13,869
160期末(2022年7月11日)	4,378	15	△ 1.2	17,374	△ 0.6	19,657	△ 3.2	96.2	—	13,536
161期末(2022年8月10日)	4,478	15	2.6	17,659	1.6	20,103	2.3	96.6	—	13,717
162期末(2022年9月12日)	4,675	15	4.7	17,717	0.3	20,970	4.3	97.1	—	14,144
163期末(2022年10月11日)	4,476	15	△ 3.9	17,162	△ 3.1	20,343	△ 3.0	96.9	—	13,429
164期末(2022年11月10日)	4,556	15	2.1	17,527	2.1	20,771	2.1	96.0	—	13,567
165期末(2022年12月12日)	4,455	15	△ 1.9	17,277	△ 1.4	20,465	△ 1.5	96.1	—	13,190
166期末(2023年1月10日)	4,429	15	△ 0.2	16,696	△ 3.4	20,406	△ 0.3	95.9	—	13,055
167期末(2023年2月10日)	4,445	15	0.7	16,564	△ 0.8	20,570	0.8	94.6	—	12,947

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

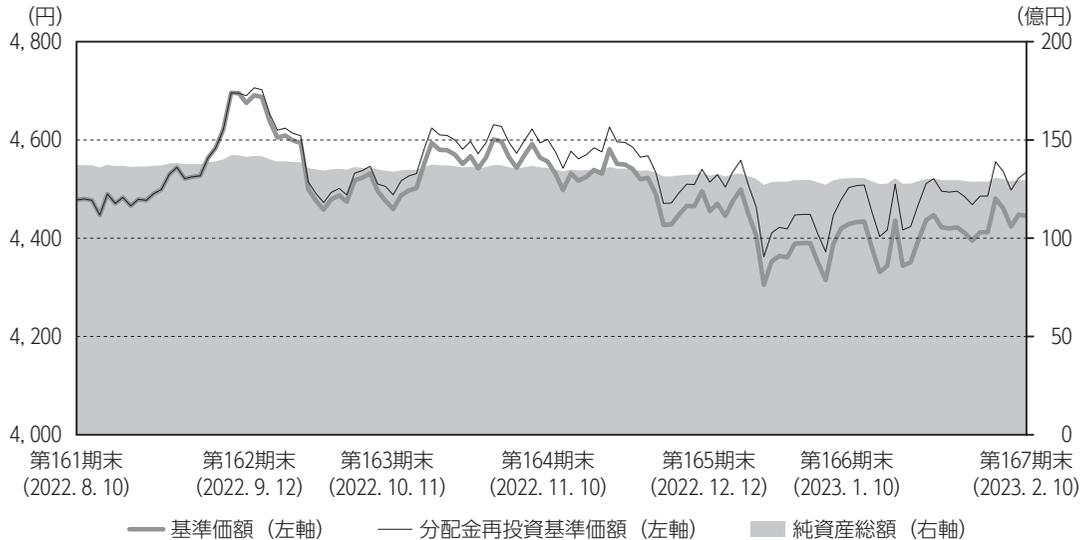
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注8) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第162期首：4,478円

第167期末：4,445円（既払分配金90円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

#### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	9.2%	50.3%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	△4.4%	49.2%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、利息収入やトルコの債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan Global Diversified GBI-EM (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第162期	(期首)2022年8月10日	4,478	—	17,659	—	20,103	—	96.6	—
	8月末	4,521	1.0	17,466	△ 1.1	20,355	1.3	96.5	—
	(期末)2022年9月12日	4,690	4.7	17,717	0.3	20,970	4.3	97.1	—
第163期	(期首)2022年9月12日	4,675	—	17,717	—	20,970	—	97.1	—
	9月末	4,487	△ 4.0	17,223	△ 2.8	20,067	△ 4.3	96.4	—
	(期末)2022年10月11日	4,491	△ 3.9	17,162	△ 3.1	20,343	△ 3.0	96.9	—
第164期	(期首)2022年10月11日	4,476	—	17,162	—	20,343	—	96.9	—
	10月末	4,601	2.8	17,726	3.3	20,582	1.2	95.4	—
	(期末)2022年11月10日	4,571	2.1	17,527	2.1	20,771	2.1	96.0	—
第165期	(期首)2022年11月10日	4,556	—	17,527	—	20,771	—	96.0	—
	11月末	4,523	△ 0.7	17,230	△ 1.7	20,516	△ 1.2	96.0	—
	(期末)2022年12月12日	4,470	△ 1.9	17,277	△ 1.4	20,465	△ 1.5	96.1	—
第166期	(期首)2022年12月12日	4,455	—	17,277	—	20,465	—	96.1	—
	12月末	4,351	△ 2.3	16,500	△ 4.5	20,059	△ 2.0	95.5	—
	(期末)2023年1月10日	4,444	△ 0.2	16,696	△ 3.4	20,406	△ 0.3	95.9	—
第167期	(期首)2023年1月10日	4,429	—	16,696	—	20,406	—	95.9	—
	1月末	4,411	△ 0.4	16,633	△ 0.4	20,609	1.0	95.9	—
	(期末)2023年2月10日	4,460	0.7	16,564	△ 0.8	20,570	0.8	94.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 8. 11 ~ 2023. 2. 10)

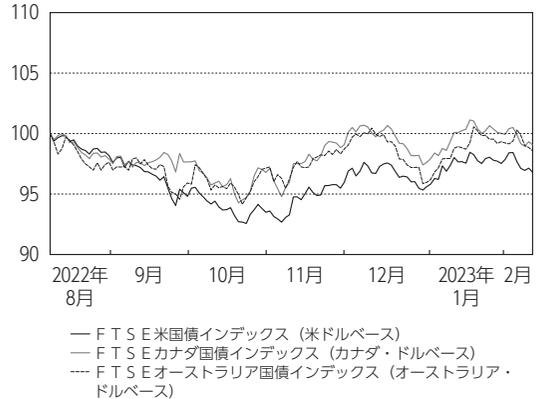
■ 海外債券市況

・ 先進国

先進国債券市況は金利上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米国においてインフレの加速が見られたことで、さらなる金融引き締め観測が高まり、金利は上昇基調となりました。他の国もインフレ率の上振れなどから金融政策正常化が意識され金利は上昇し、さらに英国が大規模な財政政策を発表したことで英国金利が急上昇し、グローバル全体で金利上昇が加速しました。その後は、英国の財政政策が撤回されたことにより英国金利は大きく低下（債券価格は上昇）し、他の国の金利もつられて低下しました。また2022年11月以降は、米国のCPI（消費者物価指数）が予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利低下基調が強まりました。2023年2月には米国で発表された経済指標が市場予想を上振れ、底堅い米国経済が確認されたことで米国金利は上昇に転じ、他の国も連れて金利上昇に転じました。

債券指数の推移



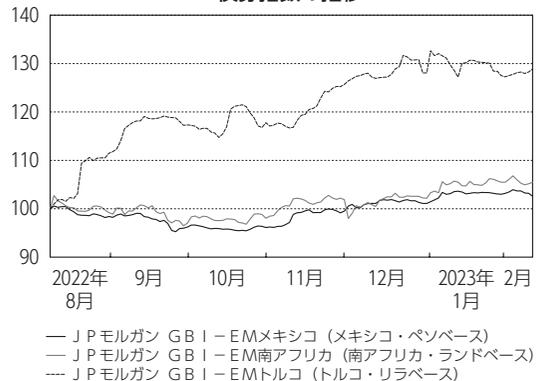
(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

・ 新興国

新興国債券市場では、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

メキシコでは、インフレ圧力の高まりにより利上げが実施されたことなどから、金利は短期を中心に上昇しました。南アフリカでは、利上げが実施されたことなどから、短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などを受け、長期の金利は低下しました。トルコでは、トルコ中央銀行が利下げを進めたことや、トルコ政府が金融機関に課した新たな規制により国債の需要が高まったことな

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

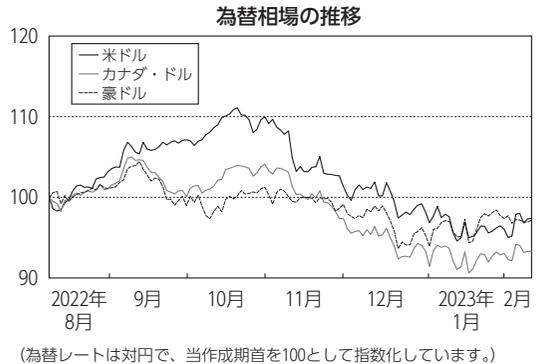
だから、金利は低下しました。

## ■為替相場

### ・先進国

先進国通貨の対円為替相場は、下落しました。

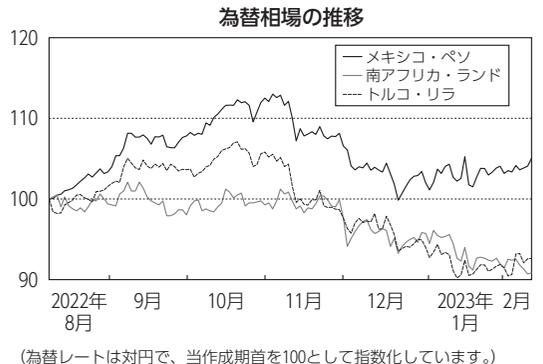
当作成期首より、インフレが加速したことでさらなる金融引き締め観測が高まり、米国金利が上昇基調となると、日米金利差の拡大などから米ドルは対円で上昇（円安）しました。2022年9月には、FRB（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安米ドル高が進行しました。その後、日本政府・日銀が円買い介入を実施したことや米国金利が低下に転じたことから米ドルは対円で下落しました。2023年に入ってから米ドルは弱含んで推移しました。2月には、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで、米ドルは対円で買い戻されましたが、当作成期を通して見ると、米ドルは対円で下落しました。また、資源国通貨であるオーストラリア・ドルやカナダ・ドルも、資源価格の下落を背景に、対円で下落しました。



### ・新興国

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソは上昇し、南アフリカ・ランドやトルコ・リラは下落しました。

日銀の政策修正などを背景に円高が進行したことなどから、南アフリカ・ランド、トルコ・リラは対円で下落しました。一方、メキシコ・ペソは積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇材料となり、対円で上昇しました。



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

### ■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

## ポートフォリオについて

(2022. 8. 11 ~ 2023. 2. 10)

### ■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

当作成期中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

### ■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

### ■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

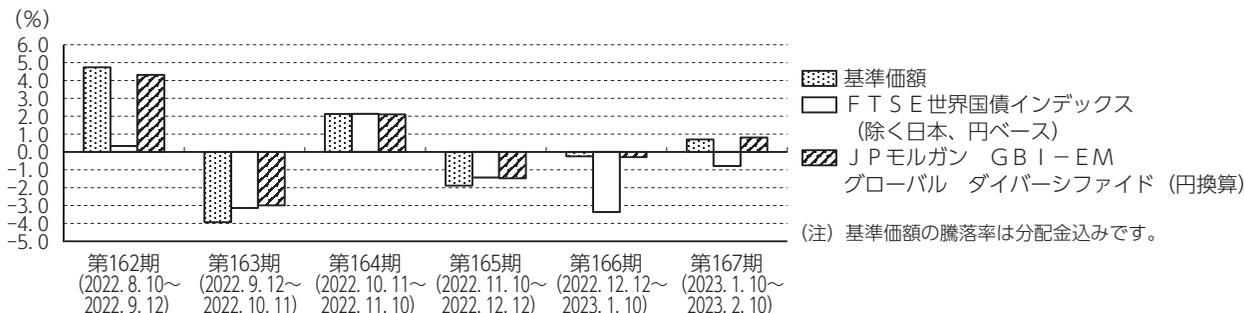
通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
	2022年8月11日 ～2022年9月12日	2022年9月13日 ～2022年10月11日	2022年10月12日 ～2022年11月10日	2022年11月11日 ～2022年12月12日	2022年12月13日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月10日
当期分配金(税込み) (円)	15	15	15	15	15	15
対基準価額比率 (%)	0.32	0.33	0.33	0.34	0.34	0.34
当期の収益 (円)	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	164	166	173	177	179	183

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 23.79円	✓ 16.60円	✓ 22.42円	✓ 19.12円	✓ 16.02円	✓ 19.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	61.85	61.92	61.99	62.13	62.23	62.31
(d) 分配準備積立金	94.13	102.87	104.41	111.71	115.76	116.71
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	179.78	181.39	188.83	192.98	194.02	198.21
(f) 分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	164.78	166.39	173.83	177.98	179.02	183.21

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

### ■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第162期～第167期 (2022. 8. 11～2023. 2. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	32円	0. 719%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4, 492円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0. 310)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 021)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	33	0. 733	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

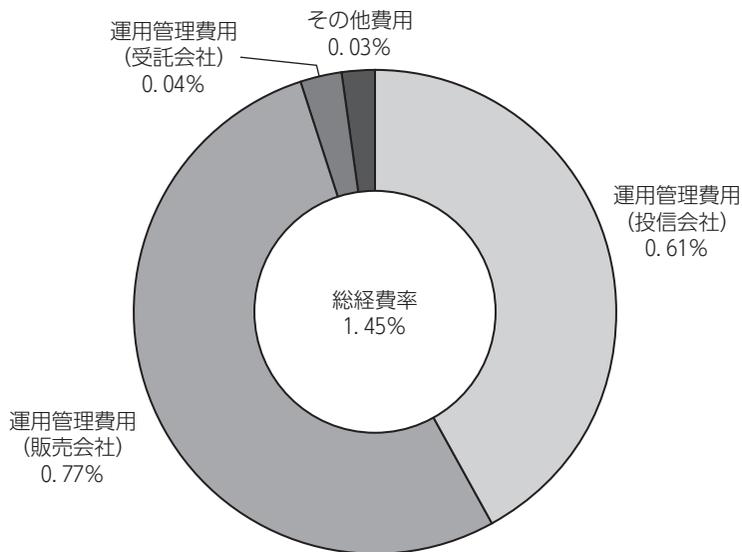
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.45%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年8月11日から2023年2月10日まで)

決算期	第162期～第167期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	3,035	6,229	167,590	336,277
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	113,533	179,144	585,003	887,759

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第167期末		
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	3,377,025	3,212,470	6,376,432
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	4,595,852	4,124,382	6,507,862

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年2月10日現在

項目	第167期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	6,376,432	49.0
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	6,507,862	50.0
コール・ローン等、その他	136,265	1.0
投資信託財産総額	13,020,560	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.71円、1カナダ・ドル=97.89円、1オーストラリア・ドル=91.37円、1トルコ・リラ=6.992円、1メキシコ・ペソ=7.015円、1南アフリカ・ランド=7.42円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第167期末における外貨建純資産(6,390,043千円)の投資信託財産総額(6,402,515千円)に対する比率は、99.8%です。  
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第167期末における外貨建純資産(6,325,442千円)の投資信託財産総額(6,524,503千円)に対する比率は、96.9%です。

# ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月12日)、(2022年10月11日)、(2022年11月10日)、(2022年12月12日)、(2023年1月10日)、(2023年2月10日)現在

項目	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末	第167期末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,227,923,291円</b>	<b>13,498,839,648円</b>	<b>13,638,270,413円</b>	<b>13,259,097,780円</b>	<b>13,122,989,582円</b>	<b>13,020,560,024円</b>
コール・ローン等	128,219,518	123,276,764	124,552,380	123,320,151	118,008,277	126,326,532
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド（評価額）	7,224,471,584	6,846,920,085	6,962,414,372	6,813,079,808	6,621,866,977	6,376,432,149
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド（評価額）	6,853,891,135	6,518,117,020	6,538,820,299	6,314,192,698	6,373,132,829	6,507,862,495
未収入金	21,341,054	10,525,779	12,483,362	8,505,123	9,981,499	9,938,848
<b>(B) 負債</b>	<b>82,948,485</b>	<b>69,321,052</b>	<b>70,841,806</b>	<b>68,561,220</b>	<b>67,759,743</b>	<b>72,870,428</b>
未払収益分配金	45,382,165	45,001,296	44,664,688	44,416,023	44,213,113	43,697,250
未払解約金	19,627,616	8,523,889	9,911,176	6,948,430	8,316,162	12,923,843
未払信託報酬	17,835,821	15,602,980	15,980,874	16,814,705	14,763,249	15,691,603
その他未払費用	102,883	192,887	285,068	382,062	467,219	557,732
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>14,144,974,806</b>	<b>13,429,518,596</b>	<b>13,567,428,607</b>	<b>13,190,536,560</b>	<b>13,055,229,839</b>	<b>12,947,689,596</b>
元本	27,229,299,041	27,000,777,756	26,798,813,337	26,649,613,931	26,527,867,847	26,218,350,027
次期繰越損益金	△ 13,084,324,235	△ 13,571,259,160	△ 13,231,384,730	△ 13,459,077,371	△ 13,472,638,008	△ 13,270,660,431
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>30,254,776,716口</b>	<b>30,000,864,177口</b>	<b>29,776,459,268口</b>	<b>29,610,682,151口</b>	<b>29,475,408,724口</b>	<b>29,131,500,035口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	4,675円	4,476円	4,556円	4,455円	4,429円	4,445円

\* 当作成期首における元本額は27,570,078,093円、当作成期間（第162期～第167期）中における追加設定元本額は114,200,850円、同解約元本額は1,465,928,916円です。

\* 第167期末の計算口数当りの純資産額は4,445円です。

\* 第167期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は13,270,660,431円です。

## ■損益の状況

第162期 自 2022年8月11日 至 2022年9月12日      第164期 自 2022年10月12日 至 2022年11月10日      第166期 自 2022年12月13日 至 2023年1月10日

第163期 自 2022年9月13日 至 2022年10月11日      第165期 自 2022年11月11日 至 2022年12月12日      第167期 自 2023年1月11日 至 2023年2月10日

項目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
<b>(A) 配当等収益</b>	△ 1,917円	△ 3,080円	△ 3,140円	△ 4,910円	△ 2,835円	△ 1,175円
受取利息	8	14	10	17	5	7
支払利息	△ 1,925	△ 3,094	△ 3,150	△ 4,927	△ 2,840	△ 1,182
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>660,820,465</b>	<b>△ 536,040,985</b>	<b>299,099,033</b>	<b>△ 240,057,097</b>	<b>△ 15,944,916</b>	<b>104,266,328</b>
売買益	663,155,837	2,956,280	300,737,340	1,216,566	162,641,225	105,837,186
売買損	△ 2,335,372	△ 538,997,265	△ 1,638,307	△ 241,273,663	△ 178,586,141	△ 1,570,858
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 17,938,704</b>	<b>△ 15,692,984</b>	<b>△ 16,073,055</b>	<b>△ 16,911,699</b>	<b>△ 14,848,406</b>	<b>△ 15,782,116</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>642,879,844</b>	<b>△ 551,737,049</b>	<b>283,022,838</b>	<b>△ 256,973,706</b>	<b>△ 30,796,157</b>	<b>88,483,037</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 11,539,781,805</b>	<b>△ 10,844,250,775</b>	<b>△ 11,348,528,009</b>	<b>△ 11,035,970,138</b>	<b>△ 11,277,376,014</b>	<b>△ 11,213,015,832</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 2,142,040,109</b>	<b>△ 2,130,270,040</b>	<b>△ 2,121,214,871</b>	<b>△ 2,121,717,504</b>	<b>△ 2,120,252,724</b>	<b>△ 2,102,430,386</b>
（配当等相当額）	（ 187,140,758）	（ 185,769,901）	（ 184,597,379）	（ 183,990,703）	（ 183,426,135）	（ 181,523,004）
（売買損益相当額）	（△ 2,329,180,867）	（△ 2,316,039,941）	（△ 2,305,812,250）	（△ 2,305,708,207）	（△ 2,303,678,859）	（△ 2,283,953,390）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>△ 13,038,942,070</b>	<b>△ 13,526,257,864</b>	<b>△ 13,186,720,042</b>	<b>△ 13,414,661,348</b>	<b>△ 13,428,424,895</b>	<b>△ 13,226,963,181</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 45,382,165</b>	<b>△ 45,001,296</b>	<b>△ 44,664,688</b>	<b>△ 44,416,023</b>	<b>△ 44,213,113</b>	<b>△ 43,697,250</b>
次期繰越損益金（G+H）	△ 13,084,324,235	△ 13,571,259,160	△ 13,231,384,730	△ 13,459,077,371	△ 13,472,638,008	△ 13,270,660,431
追加信託差損益金	△ 2,142,040,109	△ 2,130,270,040	△ 2,121,214,871	△ 2,121,717,504	△ 2,120,252,724	△ 2,102,430,386
（配当等相当額）	（ 187,140,758）	（ 185,769,901）	（ 184,597,379）	（ 183,990,703）	（ 183,426,135）	（ 181,523,004）
（売買損益相当額）	（△ 2,329,180,867）	（△ 2,316,039,941）	（△ 2,305,812,250）	（△ 2,305,708,207）	（△ 2,303,678,859）	（△ 2,283,953,390）
分配準備積立金	311,420,595	313,440,336	333,027,866	343,029,224	344,242,670	352,221,359
繰越損益金	△ 11,253,704,721	△ 11,754,429,456	△ 11,443,197,725	△ 11,680,389,091	△ 11,696,627,954	△ 11,520,451,404

（注1） 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2） 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3） 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
(a) 経費控除後の配当等収益	71,994,520円	49,811,094円	66,785,305円	56,641,518円	47,241,463円	55,902,094円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	187,140,758	185,769,901	184,597,379	183,990,703	183,426,135	181,523,004
(d) 分配準備積立金	284,808,240	308,630,538	310,907,249	330,803,729	341,214,320	340,016,515
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	543,943,518	544,211,533	562,289,933	571,435,950	571,881,918	577,441,613
(f) 分配金	45,382,165	45,001,296	44,664,688	44,416,023	44,213,113	43,697,250
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	498,561,353	499,210,237	517,625,245	527,019,927	527,668,805	533,744,363
(h) 受益権総口数	30,254,776,716口	30,000,864,177口	29,776,459,268口	29,610,682,151口	29,475,408,724口	29,131,500,035口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金（税込み）	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期	第167期
		15円	15円	15円	15円	15円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、FTSE 米国債インデックス（米ドルベース）、FTSE カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）、FTSE オーストラリア国債インデックス（オーストラリア・ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマーゼィング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

# ダイワ外国債券先進国マザーファンド

## 運用報告書 第28期 (決算日 2023年2月10日)

(作成対象期間 2022年8月11日～2023年2月10日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

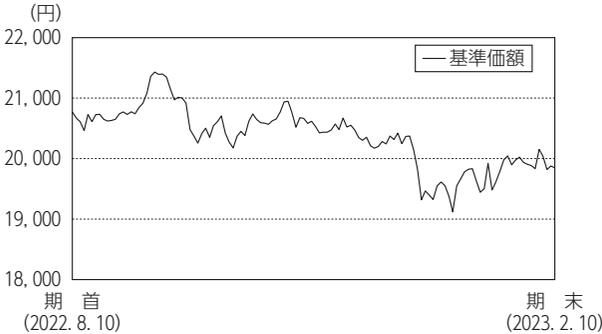
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,769円 期末：19,849円 騰落率：△4.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラス要因となりましたが、債券の価格下落や投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は金利上昇（債券価格は下落）しました。

当作成期首より、米国においてインフレの加速が見られたことで、さらなる金融引き締め観測が高まり、金利は上昇基調となりました。他の国もインフレ率の上振れなどから金融政策正常化が意識され金利は上昇し、さらに英国が大規模な財政政策を発表したことで英国金利が急上昇し、グローバル全体で金利上昇が加速しました。その後は、英国の財政政策が撤回されたことにより英国金利は大きく低下（債券価格は上昇）し、他の国の金利もつられて低下しました。また2022年11月以降は、米国のCPI（消費者物価指数）が予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利低下基調が強まりました。2023年2月には米国で発表された経済指標が市場予想を上振れ、底堅い米国経済が確認されたことで米国金利は上昇に転じ、他の国も連れて金利上昇に転じました。

○為替相場

先進国通貨の対円為替相場は、下落しました。

当作成期首より、インフレが加速したことでさらなる金融引き締め観測が高まり、米国金利が上昇基調となると、日米金利差の拡大などから米ドルは対円で上昇（円安）しました。2022年9月には、FRB（米連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安米ドル高が進行しました。その後、日本政府・日銀が円買い介入を実施したことや米国金利が低下に転じたことから米ドルは対円で下落しました。2023年に入ってから米ドルは弱含んで推移しました。2月には、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで、米ドルは対円で買い戻されましたが、当作成期を通じて見ると、米ドルは対円で下落しました。また、資源国通貨であるオーストラリア・ドルやカナダ・ドルも、資源価格の下落を背景に、対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

年 月 日	基準価額		FTSE 世界国債 インデックス (除く日本、円ベース)		公社債 債券 組入比率 先物比率	
	円	騰落率 %	参考指数	騰落率 %	%	%
(期首) 2022年 8月10日	20,769	—	17,659	—	98.5	—
8月末	20,729	△ 0.2	17,466	△ 1.1	98.4	—
9月末	20,504	△ 1.3	17,223	△ 2.5	98.1	—
10月末	20,938	0.8	17,726	0.4	96.1	—
11月末	20,302	△ 2.2	17,230	△ 2.4	97.5	—
12月末	19,380	△ 6.7	16,500	△ 6.6	98.0	—
2023年 1月末	19,939	△ 4.0	16,633	△ 5.8	97.6	—
(期末) 2023年 2月10日	19,849	△ 4.4	16,564	△ 6.2	98.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## ダイワ外国債券先進国マザーファンド

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

### 《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	( 1)
（その他）	( 0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2022年8月11日から2023年2月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.75% 2032/6/2	217,080	ONTARIO PROVINCE (カナダ) 3.5% 2024/6/2	345,000
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 3.3% 2028/8/14	133,621	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア) 3.25% 2026/7/21	337,681
City of New York NY (アメリカ) 5.968% 2036/3/1	114,452	Airservices Australia (オーストラリア) 2.75% 2023/5/15	141,809
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 4.5% 2024/11/30	99,995	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 4.25% 2026/4/21	120,413
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 1.75% 2051/6/21	86,524	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 1.25% 2032/5/21	45,338
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ) 2.75% 2027/7/31	67,693		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2022年8月11日から2023年2月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	千アメリカ・ドル 1,241	千アメリカ・ドル —
		824	( —)
	カナダ	千カナダ・ドル 2,089	千カナダ・ドル 3,272
			( —)
国	オーストラリア	千オーストラリア・ドル 941	千オーストラリア・ドル 1,840
		1,405	( 5,153)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 14,050	千アメリカ・ドル 12,693	千円 1,671,868	% 26.2	% —	% 10.2	% 14.4	% 1.5
カナダ	千カナダ・ドル 17,300	千カナダ・ドル 16,624	1,627,379	25.5	—	15.8	5.6	4.1
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 36,160	千オーストラリア・ドル 32,506	2,970,155	46.5	—	20.3	24.2	1.9
合計	—	—	6,269,403	98.1	—	46.3	44.2	7.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期			末		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額				
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	千アメリカ・ドル 5,000	千アメリカ・ドル 4,601	千円 606,122		2026/12/31	
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	0.8750	3,000	2,440	321,458		2030/11/15	
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	2.7500	2,500	2,379	313,361		2027/07/31	
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	4.5000	750	748	98,576		2024/11/30	
	City of New York NY	地方債証券	5.9680	800	885	116,688		2036/03/01	
	CITY OF NEW YORK NY	地方債証券	1.9700	2,000	1,637	215,661		2031/03/01	
	通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		14,050	12,693	1,671,868		
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	千カナダ・ドル 4,000	千カナダ・ドル 3,659	358,265		2027/06/01	
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	1,700	1,678	164,341		2024/06/02	
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.7500	3,100	3,098	303,273		2032/06/02	
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.9000	1,000	980	95,948		2024/06/15	
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.6500	7,500	7,207	705,549		2028/12/15	
	通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		17,300	16,624	1,627,379		
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	千オーストラリア・ドル 3,400	千オーストラリア・ドル 2,095	191,467		2051/06/21	
	Airservices Australia	特殊債券	2.7500	1,360	1,356	123,976		2023/05/15	
	TREASURY CORP VICTORIA	特殊債券	1.5000	4,000	3,211	293,454		2031/09/10	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	5,300	5,223	477,229		2026/07/21	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.0000	4,500	4,350	397,481		2026/10/19	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	1.1000	3,000	2,325	212,451		2030/11/18	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	3.3000	1,500	1,431	130,813		2028/08/14	
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	1.2500	500	388	35,523		2031/02/06	

# ダイワ外国債券先進国マザーファンド

当 期				末			
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	3.1000	千オーストラリア・ドル 6,000	千オーストラリア・ドル 5,838	千円 533,429	2026/08/17
	NORDIC INVESTMENT BK.	特殊債券	3.3000	1,600	1,539	140,626	2027/08/16
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	3.1000	5,000	4,746	433,701	2028/02/22
通貨小計	銘柄数	11銘柄					
	金 額			36,160	32,506	2,970,155	
合 計	銘柄数	22銘柄					
	金 額					6,269,403	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,269,403	% 97.9
コール・ローン等、その他	133,111	2.1
投資信託財産総額	6,402,515	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.71円、1カナダ・ドル=97.89円、1オーストラリア・ドル=91.37円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(6,390,043千円)の投資信託財産総額(6,402,515千円)に対する比率は、99.8%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年2月10日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>6,402,515,276円</b>
コール・ローン等	66,011,957
公社債(評価額)	6,269,403,453
未収利息	41,475,191
前払費用	3,181,051
差入委託証拠金	22,443,624
<b>(B) 負債</b>	<b>9,938,848</b>
未払解約金	9,938,848
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>6,392,576,428</b>
元本	3,220,643,492
次期繰越損益金	3,171,932,936
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,220,643,492口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	19,849円

\* 期首における元本額は3,384,987,706円、当作成期間中における追加設定元本額は3,648,813円、同解約元本額は167,993,027円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー 3,212,470,225円

ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー 8,173,267円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,849円です。

■損益の状況

当期 自 2022年8月11日 至 2023年2月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	89,304,536円
受取利息	89,028,205
その他収益金	278,803
支払利息	△ 2,472
(B) 有価証券売買損益	△ 396,784,864
売買益	16,766,184
売買損	△ 413,551,048
(C) その他費用	△ 502,885
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 307,983,213
(E) 前期繰越損益金	3,645,226,662
(F) 解約差損益金	△ 169,090,533
(G) 追加信託差損益金	3,780,020
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,171,932,936
次期繰越損益金 (H)	3,171,932,936

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ外国債券新興国マザーファンド

## 運用報告書 第28期 (決算日 2023年2月10日)

(作成対象期間 2022年8月11日～2023年2月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

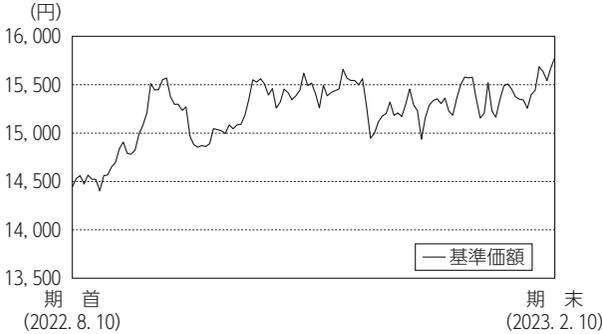
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	海外の債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,445円 期末：15,779円 騰落率：9.2%

【基準価額の主な変動要因】

複数の投資対象通貨が円に対して下落（円高）したことがマイナス要因となりましたが、投資している債券の利息収入やトルコの債券価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場では、金利は国によってまちまちな動きとなりました。

メキシコでは、インフレ圧力の高まりにより利上げが実施されたことなどから、金利は短期を中心に上昇しました。南アフリカでは、利上げが実施されたことなどから、短期の金利は上昇しましたが、米国の金融引き締め観測の後退などをを受け、長期の金利は低下しました。トルコでは、トルコ中央銀行が利下げを進めたことや、トルコ政府が金融機関に課した新たな規制により国債の需要が高まったことなどから、金利は低下しました。

○為替相場

新興国通貨の対円為替相場では、メキシコ・ペソは上昇し、南アフリカ・ランドやトルコ・リラは下落しました。

日銀の政策修正などを背景に円高が進行したことなどから、南アフリカ・ランド、トルコ・リラは対円で下落しました。一方、メキシコ・ペソは積極的な利上げや高金利通貨としての魅力が上昇材料となり、対円で上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債を中心に運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

年 月 日	基準価額		JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率
	円	騰落率 %	(参考指数) 騰落率	%		
(期首)2022年8月10日	14,445	—	20,103	—	95.5	—
8月末	14,790	2.4	20,355	1.3	95.5	—
9月末	14,861	2.9	20,067	△ 0.2	95.5	—
10月末	15,454	7.0	20,582	2.4	95.7	—
11月末	15,561	7.7	20,516	2.1	95.4	—
12月末	15,225	5.4	20,059	△ 0.2	94.0	—
2023年1月末	15,342	6.2	20,609	2.5	95.1	—
(期末)2023年2月10日	15,779	9.2	20,570	2.3	92.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

# ダイワ外国債券新興国マザーファンド

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 ( 2)
(その他)	( 0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

### 公 社 債

(2022年8月11日から2023年2月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外	トルコ	千トルコ・リラ 128,060	千トルコ・リラ 126,958 ( 41,800)
		特殊債券	69,055 ( 23,000)
国	メキシコ	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 63,246 ( —)
		国債証券	—
	南アフリカ	千南アフリカ・ランド 20,570	千南アフリカ・ランド 15,534 ( —)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2022年8月11日から2023年2月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 21.5% 2032/4/28	1,007,270	Mexican Bonos (メキシコ) 6.75% 2023/3/9	401,009
EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 8% 2024/2/6	262,721	Turkey Government Bond (トルコ) 8% 2025/3/12	240,252
CORP ANDINA DE FOMENTO (国際機関) 32.5% 2026/1/30	240,181	Turkey Government Bond (トルコ) 12.6% 2025/10/1	238,916
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.75% 2044/1/31	167,648	Turkey Government Bond (トルコ) 10.6% 2026/2/11	191,526
		Turkey Government Bond (トルコ) 10.4% 2024/3/20	174,973
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 12.5% 2023/2/9	131,510
		Turkey Government Bond (トルコ) 10.5% 2027/8/11	113,286
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 13.25% 2023/2/22	89,809
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2030/1/31	68,492
		Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2047/11/7	61,244

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコ・リラ 192,000	千トルコ・リラ 260,769	千円 1,823,403	% 27.9	% 16.3	% 16.3	% 4.0	% 7.6
メキシコ	千メキシコ・ペソ 377,000	千メキシコ・ペソ 356,788	2,503,014	38.4	—	21.9	—	16.5
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 293,270	千南アフリカ・ランド 227,128	1,685,294	25.8	—	25.8	—	—
合計	—	—	6,011,711	92.1	16.3	64.1	4.0	24.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期			末		償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額				
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			
トルコ	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	21.5000	千トルコ・リラ 79,000	千トルコ・リラ 152,303	千円 1,064,965		2032/04/28	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	12.0000	16,000	15,861	110,907		2023/03/15	
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	13.2500	12,000	11,981	83,780		2023/02/22	
	CORP ANDINA DE FOMENTO	特殊債券	32.5000	35,000	37,388	261,437		2026/01/30	
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	8.0000	50,000	43,234	302,312		2024/02/06	
	通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		192,000	260,769	1,823,403		
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	千メキシコ・ペソ 105,000	千メキシコ・ペソ 97,030	680,707		2047/11/07	
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	50,000	48,905	343,091		2023/12/07	
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	104,000	104,158	730,710		2024/12/05	
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	118,000	106,694	748,504		2042/11/13	
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		377,000	356,788	2,503,014			
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	千南アフリカ・ランド 48,000	千南アフリカ・ランド 32,479	240,995		2036/03/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	31,000	19,720	146,327		2041/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	56,000	46,398	344,279		2031/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	49,000	38,722	287,319		2048/02/28	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	66,000	53,654	398,117		2037/01/31	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	16,270	14,854	110,216		2030/01/31	

# ダイワ外国債券新興国マザーファンド

区 分		当 期			末			
		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500%	千南アフリカ・ランド 27,000	千南アフリカ・ランド 21,298	千円 158,038	
通貨小計	銘柄数	7銘柄						
	金額				293,270	227,128	1,685,294	
合 計	銘柄数	16銘柄						
	金額						6,011,711	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年2月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	6,011,711千円	92.1%
コール・ローン等、その他	512,791	7.9
投資信託財産総額	6,524,503	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。  
 (注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.71円、1トルコ・リラ=6.992円、1メキシコ・ペソ=7.015円、1南アフリカ・ランド=7.42円です。  
 (注3) 当期末における外貨建純資産(6,325,442千円)の投資信託財産総額(6,524,503千円)に対する比率は、96.9%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年2月10日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	6,524,503,329円
コール・ローン等	373,698,517
公社債(評価額)	6,011,711,439
未取利息	139,093,373
(B)負債	—
(C)純資産総額(A-B)	6,524,503,329
元本	4,134,862,575
次期繰越損益金	2,389,640,754
(D)受益権総口数	4,134,862,575口
1万口当り基準価額(C/D)	15,779円

\*期首における元本額は4,606,771,713円、当作成期間中における追加設定元本額は114,046,424円、同解約元本額は585,955,562円です。  
 \*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
 ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー 4,124,382,087円  
 ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー 10,480,488円  
 \*当期末の計算口数当りの純資産額は15,779円です。

## ■損益の状況

当期 自 2022年8月11日 至 2023年2月10日

項 目	当 期
(A)配当等収益	307,872,830円
受取利息	307,877,911
支払利息	△ 5,081
(B)有価証券売買損益	272,416,539
売買益	637,047,532
売買損	△ 364,630,993
(C)その他費用	△ 897,447
(D)当期損益金(A+B+C)	579,391,922
(E)前期繰越損益金	2,047,585,300
(F)解約差損益金	△ 303,243,382
(G)追加信託差損益金	65,906,914
(H)合計(D+E+F+G)	2,389,640,754
次期繰越損益金(H)	2,389,640,754

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。  
 (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。